

教材名	助詞・構文指導プログラムカード						
ねらい	<p>助詞の使用と構文の力 「聞く、話す、読む、書く」力 認知、情報処理のスタイルに合わせて ・聴覚（音声言語）情報入力や、処理・記憶の弱さを持つ児童に、視覚（絵や文字）情報入力処理の力で、その弱さを補い育てる 聴覚、視覚入力処理情報レベルに合わせて ・構成は、基本編、活用編、応用編の3段階 ・発問は、「質問に答える」「絵と助詞を見ながら話す」「絵を見ながら話す」の3段階 ・それぞれの発問時に、「絵だけ」「助詞と絵」「助詞と音声」など、入力情報の組み合わせと量を加减し、個々の児童のレベルに合わせる</p>						
手順と内容	（準備物） 助詞・構文指導プログラムカード ランゲージパル						
活用の仕方	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>A. 聞く（耳慣れる・聞き取る）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">a. 絵を見ながら聞く</td> <td style="width: 50%;">復唱する</td> </tr> <tr> <td>b. 文を見ながら聞く</td> <td>復唱する</td> </tr> <tr> <td>c. 助詞を見ながら聞く</td> <td>復唱する</td> </tr> </table> <p>B. 話す</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 質問に答える b. 絵と助詞を見ながら話す c. 絵を見ながら話す <p>C. 読む</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 音声を聞いた後で読む b. 自分でお話を作った後で、確かめとして読む c. 絵で意味を補いながら読む d. 漢字を見ながらふりがなの部分を読む （ひらがなより漢字が読みやすい児童への配慮） <p>D. 書く</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 聴写 聞いて書く b. 視写 読んで書く c. 短作文 作って書く 	a. 絵を見ながら聞く	復唱する	b. 文を見ながら聞く	復唱する	c. 助詞を見ながら聞く	復唱する
a. 絵を見ながら聞く	復唱する						
b. 文を見ながら聞く	復唱する						
c. 助詞を見ながら聞く	復唱する						

http://kids.gakken.co.jp/campus/jiritu/pickup/backnumber/03_0809/top.html

詳細は学研の軽度発達障害児の支援教育のための教材紹介ページ「ぴっくあっぷ教材教具」にあります。

（八幡第二小学校より提供）